

住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第110号 平成26年2月28日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 太田有香
発行責任者 稲葉 登志夫

目次

農家さん訪問記 (94) 【熊本・デコポン】	p. 1
新農薬紹介【ピクシオDF・ベネセット水和剤】	p. 6
害虫の名前を知る方法 その3	p. 9
今月の肥料紹介【ゴルフ場向け被覆配合肥料】	p. 12
★復活★今月のご相談から【ピクシオDF・ ゼンターリ顆粒水和剤・アグロスリン水和剤 他】	p. 13
農薬登録情報	p. 14
農薬を正しく使おう! ⑤	p. 15
農薬ガイド解説辞典	p. 16
★続★ひまわり農園奮闘記①	p. 17
【お知らせ】大阪セミナー報告 他	p. 18
バーチャルトライアスロンの旅 vol.6	p. 19
工場紹介②【下松工場】	p. 20
通販のご紹介 (日本エコアグロ(株))	p. 23
編集後記	p. 24



ビワとキジバト
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(94)

風土を生かした柑橘栽培を後世へ

熊本市内から有明海の対岸に雲仙普賢岳を望みながら約2時間半のドライブで天草に着きました。今回お会いしたのは佐藤柑橘農園を経営する佐藤國光さん(77歳)です。

佐藤さんは現在ご自身とご長男夫妻、研修生(1名)そしてパートの皆さんと約4haの農園で



佐藤國光さん

デコポン、ジューシーフルーツ、ポンカン、清美、早生みかんを生産、販売しています。その中でもデコポンとジューシーフルーツの生産が主力です。デコポンは加温ハウスが40a、無加温ハウスが60aあります。加温は2月1日から始め、収穫は12月から3月まで続きます。ジューシーフルーツは8月くらいまで木にならせた状態にし、その後収穫します。農園の収穫時期は10月の早生みかんから始まりジューシーフルーツまで約10か月間続きます。ジューシーフルーツは品種名で言うと「河内晩柑」と言って、手で皮を剥いて食べるのではなく、グレー

プフルーツのように真ん中で輪切りにしてスプーンなどで食べます。佐藤さんに教えてもらい日本にもそんな柑橘があることを初めて知りました。



ジューシーフルーツ



デコポン

らしいお父さんですね。

しかし、お金があっても直ぐに栽培が出来る訳ではありません。技術を指導してくれた県の試験場には「今でも感謝している」と話されていましたが、綺麗に整備された立派な農園を見ると、ご自身の努力も並大抵でなかったことは想像に難くありません。以前山林であった場所を業者に頼まずご自身で山を切り拓き、谷を埋めて造成し、今ではご自宅の周囲のほとんどが佐藤柑橘農園に変わりました。天草は島なので川もなく、さらに水持ちが悪い土地のため、施設（ハウス）を立てる時にハウスそのものを利用した灌漑対策を思いつきました。それはハウスの屋根に降る雨を一滴も無駄にせず、全て受け止め、灌漑用のため池をつくり、貯めた雨水をポンプで汲み上げて使う方法です。これで水の心配なく柑橘を育てることが出来るようになりました。最近は息子さんやお孫さんの協力もあり、ハウスの管理をするのに IT 技術によって、温度のプログラム制御や土中水分の管理を行い、携帯電話で栽培に関するデータをいつでもどこでも見る事が出来るようにしています。このシステムには停電をご近所にお知らせする機能もあるそうです。農業を始めて 50 年の経験から、自分が住んでいる地域の風土を良く知ることが一番大切であり、それを踏まえて多様な技術情報を地域に合うようにアレンジした栽培技術を磨くことが良い品質の農産物を育てる秘訣と話されていました。

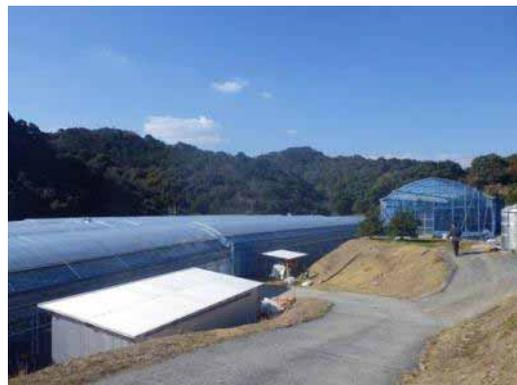
佐藤さんはデコポンで、全国農林水産祭参加熊本県果樹共進会にて 2 年連続金賞を受賞するほど県内でも屈指のデコポン生産農家です。それだけにデコポンについての思いも強く、当日は栽培、販売、これからについて熱



有明海から遠く雲仙普賢岳を望む

創意工夫と努力で実は結ぶ

天草という歴史のある土地柄なので佐藤さんも代々受け継いだ農家だと思っていたのですが、そうではなかったと聞いて驚きました。何と國光さんの代から農業を始めたそうです。会社員であったお父さんが故郷の天草に戻り、その頃学校を卒業したばかりの佐藤さん（次男）に農業をやりなさいという鶴の一声で何も栽培経験のないところから始めたそうです。まさにゼロからのスタートです。学校を卒業してすぐなので栽培を始めてもすぐには稼げません。資金はお父さんが薬の行商をして稼ぎ、佐藤さんに投資してくれました。命令するだけでなく息子さんが安心して農業が出来るようバックアップもする、素晴



佐藤柑橘農園のハウス



灌漑設備

く語られ、私たちも佐藤さんのデコポン栽培に対する情熱やチャレンジ精神を少しでももらって頑張ろうと感じました。

『デコポン』のいろは

デコポンの栽培を始める前、主力品種の甘夏柑の需要が低迷し、当時熊本県ではこれに代わる品種を探していました。熊本県は後継品種として採用する基準を決めており、それをクリア出来たのが対岸の長崎県にある農林水産省果樹試験場口之津支場（現・（独）農研機構果樹

研究所口之津拠点）が育種していた品種で、外見が悪いなどの理由で品種登録もされずお蔵入りしていました。ところが子供に見せたところ受けが良かったため、県としてポンカンの後継品種『不知火』（シラヌヒ）として宇土郡不知火町（現・宇城市）で栽培の取組が始まり、県内へ栽培地域を広げました。時代が変われば好みも変わるということでしょうか。

さて皆さん、デコポンはなぜデコポンと言うのかご存知でしょうか？

デコポンの両親はポンカン（♂）と清美（♀）です。品種登録上は『不知火』（シラヌヒ）と言います。佐藤さんの農園を訪問する前に立ち寄ったJAの直売所では我々が知っている形の果実がデコポンと不知火の両方の名前で販売していました。デコポンという名前は「おデコが出ているポンカン」に由来します。しかし、形だけではデコポンではありません。何故ならおデコが出ていなくてもデコポンとして出荷出来るからです。実は不知火のうち、糖度が13度以上、クエン酸含量1%以下の果実のみが『デコポン』の名称で販売出来ます。そして全国の柑橘関係農協県組合連合会を通じた販売に限定されています。不知火は、熊本県以外の県でも栽培され、別の商品名で販売していたのですが、デコポンがあまりに有名になったため上記の基準をクリアしたものであれば、他県産でも今はデコポンとして販売できるようになりました。

訪問した時はちょうどハウスのデコポンの収穫真っ最中で、我々が近くのスーパーなどでお目にかかるものとは違い、サイズも大きく（3L、4L）、肌の艶もみずみずしく、見るからに高級で美味しそうな果実がたくさんなっていました。12月末に収穫を既に終えたハウス栽培のものは全て贈答用です。店頭価格をお聞きしたところ、買おうかどうか躊躇するほど高価でした。

ところで、見学したハウスの中で不思議に思ったことがありました。同じデコポンの木におデコが出ている果実とそうでない果実がなっていました。何故？とその理由を佐藤さんに尋ねましたところ、その回答は、おデコが出る、出ないは花の時期の温度に関係があり、温度が高いほどおデコが出るそうです。よく見てみると樹上に行くほどおデコが大きく、下にいくほど小さくなっていました。植物は温度に敏感なのですね。

地域社会への貢献と将来への布石

佐藤さんはご自身の農園を良くして行くだけでなく地域としての発展にも尽力しています。それが形になったのが仲間を集いご自身の農園の裏にある山林を人の手を借りずに造成して、デコポン団地を造ったことです。9軒の農家が参画し、同じ場所でお互い技術を磨きながらより品質の高い天草のデコポン作りに取り組むこと、また若い後継者がその先も農業



デコポンの里全景

を続けることが出来る、魅力ある環境を整備することも団地を造った目的でした。この団地にも佐藤さんが開発した灌漑設備のため池（貯水池）がいくつもありました。団地の脇には『デコポンの里』の碑があり、あらためて佐藤さんのデコポンそして地域に対する思いを垣間見た気がします。



デコポンの里灌漑設備

待ちの農業から攻めの農業へ チャレンジが農家を変える

佐藤さんの生産物は、JA 出荷以外約 6 割が個人販売です。顧客は全て口コミで増えていったそうです。また県のアンテナショップへの出荷が縁となって大手外食チェーンと契約し、そのお店では佐藤さんのしぼりたてのデコポンジュースが注文出来ます。

「栽培・収穫・箱詰め・出荷するだけの農家の時代は終わり、消費者に自分たちが生産した農産物を出来るだけ多く食べていただく方法を農家自身が考え、行動する時代だ」と佐藤さんは話していました。有言実行、佐藤さんは契約しているスーパーの店頭でご自身で枝になっているデコポンのディスプレイを作ったり、葉つきのデコポンを販売するなど消費者がより農産物を身近に感じてくれる工夫もしています。



人気の葉つきデコポン

社会貢献、そして将来へ

さて、佐藤さんにはかんきつ栽培以外に長く続けてきたことがあります。それは阿蘇山の草原の草刈りと野焼きのボランティアです。地域の警察ボランティア（補導員）を 30 年近く勤めたその縁で始めました。阿蘇のボランティアになるには研修を受けないと出来ません。少しでも社会の役に立ちたいとの若いころからの思いが実現出来ること、そしてボランティアをしたあとの仲間との懇親（飲み会）が最高に楽しい

から止められないそうです。ただ、年齢のことを考えるとそろそろ後進に道を譲る時期が来ているとも話されていました。もう一つの楽しみは「みのり会」という会に出席することです。「みのり会」は柑橘栽培をする仲間の集まりで、遊び・呑み・勉強するのが目的で、佐藤さんは会長をしています。国内だけでなく、海外へも研修に行かれています。弊社の大分工場（原体工場）、下松工場（製剤工場）へも見学に行ったことがあるとのこと。ありがとうございます。

今は農園の経営も順調ですが、人には言えないような色んなご苦勞をされたのだと思います。佐藤さんのお話を聞いていると失敗を恐れず夢に向かってチャレンジし続けることの大切さをあらためて感じました。「やっとな百姓になれた」と洩らされた一言が今でも印象に残っています。

佐藤さんの夢は、県の農業大学校に通っているお孫さんが 3 代目としてご自身の農園を継いでくれることです。防除作業を少しでも楽にするため露地の畑はスピードスプレーヤーが通れるように整備し、また卒業後、お孫さんが自分の農園を持てるように、山林を造成して新しく農園を作りました。農園をプレゼントされるとお孫さんも嫌とは言えないですね。さらに夢は大きくデコポン団地をさらに拡張して名実ともに日本一の産地としてブランド化することです。既に造成計画も出来上がっていて、あとは資金が貯まるのを待つだけだそうです。それを楽しそうにお話しされる佐藤さんの笑顔を見て、天草を後にしました。

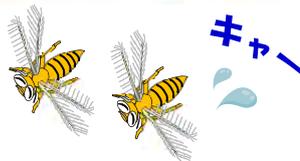


デコボンの里記念碑

今回の取材ではグリーンテック(株)八代営業所様、天草農材様には大変お世話になりました。紙面を借りて御礼申し上げます。

(黒田、宮本)

かんきつの害虫防除に！
前日まで使えます



[目次へ戻る](#)

新農薬紹介

農林水産省登録第 23298 号

灰色かび病防除に新登場！！

ピクシオ[®]DF

今月は当社の新規殺菌剤『ピクシオDF』をご紹介します。本剤は2014年1月20日より販売を開始いたしました。有効成分フェンピラザミンは、トマト、きゅうり、なすなどの施設栽培で問題となる灰色かび病・菌核病に高い効果を発揮します。既存薬剤に耐性を示す灰色かび病菌にも高い効果を示すことから、灰色かび病に対するローテーション防除の主要薬剤として活用が期待できます。

【特長】

灰色かび病・菌核病に高い効果を示します。

高い予防効果に加え、浸達性・浸透移行性に優れるため作物の内部に侵入した病原菌に対しても高い効果を発揮し、優れた治療効果（病斑進展阻止効果）を示します。

他剤耐性菌にも効果を発揮します。

既存薬剤に耐性を示す灰色かび病菌にも高い効果を発揮します。

扱いやすいドライフロアブル(DF)製剤です。

本剤は顆粒状の剤型で、溶けやすく泡立ちも少ない製剤です。

作物への安全性が高い薬剤です。

これまで適用作物で薬害を確認した事例はありません。



トマト灰色かび病

上手な使い方

発病を確認したら、すぐに散布してください。

病害防除は予防散布が原則ですが、ピクシオDFは治療効果に優れるため、初発確認後の散布でも高い効果が期待できます。ただし、病気が蔓延する前に散布するようにしてください。

本剤のみの連用は避け作用性の異なる剤と組み合わせてご使用ください。

耐性菌の発生を防ぐため、ローテーション防除を徹底してください。

耕種的防除と組み合わせて使用してください。

感染源となる古い花卉や罹病部は取り除いてください。また過繁茂を避け、施設栽培では換気に努めてください。



イチゴ灰色かび病



キュウリ菌核病(茎)

【適用病害と使用方法】

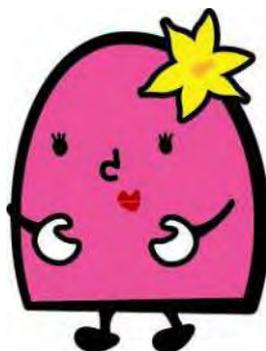
(有効成分) フェンピラザミン 50.0%

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤およびフェンピラザミンを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト きゅうり なす	灰色かび病 菌核病	2000倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	散布	4回以内
いちご						
ぶどう かんきつ	灰色かび病		200～ 700L/10a			3回以内

製品写真



製品イメージキャラクター
作物を守る妖精 ピくちゃん



(市居)

新農薬紹介

攻めと守りのダブルの効果!!

殺菌剤

農林水産省登録第 23185 号

ベネセット[®]水和剤

今月は当社の新規殺菌剤『ベネセット水和剤』をご紹介します。

『ベネセット水和剤』は、各種べと病・疫病に高い予防効果と治療効果を発揮するベンチアバリカルブイソプロピルと幅広い病害に対する予防効果に定評のあるマンゼブを有効成分とする新規殺菌剤です。

2つの有効成分が補完的に作用することにより、各種べと病・疫病に対し、安定的に高い防除効果を発揮します。

【特長】

予防と治療のダブルの効果。

べと病菌、疫病菌の生活環の多くのステージに作用し、感染から発病に至る全ての過程を阻害します。

優れた耐雨性。

浸達性に優れたベンチアバリカルブイソプロピルと付着性に優れたマンゼブのダブルの効果により防除効果が安定します。

既存薬剤耐性菌にも安定した効果。

国内で確認された既存薬剤耐性菌にも効果を発揮します。また、作用点の異なる2成分を混合することにより、薬剤耐性菌の発達リスクも回避します。

【適用病害と使用方法】

(有効成分) ベンチアバリカルブイソプロピル 3.75%、マンゼブ 70.0%

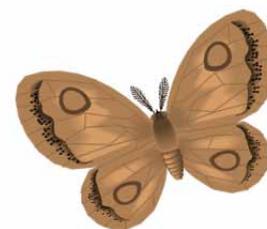
作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチアバリカルブイソプロピルを含む農薬の総使用回数	マンゼブを含む農薬の総使用回数
ぶどう	べと病 黒とう病 晩腐病	1000倍	200～ 700L/10a	収穫45日 前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
きゅうり	べと病		100～ 300L/10a	収穫前日 まで	3回以内			3回以内
メロン		収穫7日前 まで		5回以内	5回以内			
たまねぎ		750倍		3回以内	5回以内			
トマト		疫病		1000倍	収穫前日 まで		2回以内	3回以内

べと病・疫病を中心とした病害防除に『ベネセット水和剤』をよろしくお願ひします。

(田淵)

[目次へ戻る](#)

害虫の名前を知る方法



その③ 野菜を加害する蛾類害虫の見分け方

ー代表的な野菜の広食性蛾類害虫 1ー

技術顧問 清水喜一

前回の続きですが、コナガは、なぜアブラナ科植物しか食べないのでしょうか。

アブラナ科植物はカラシ油配糖体という物質を持っています。カラシ油配糖体自体は、辛くありませんが、昆虫に食害されると酵素分解されてカラシ油が出現します。アブラナ科植物の辛み成分です。おろしたワサビや大根が辛いのはこのためです。

1種の生体防御物質として、動物や昆虫に食べられるのを防いでいると考えられています。しかし、このカラシ油を食べても平気な昆虫が出現すると他の昆虫が寄生しないアブラナ科植物を独占できる可能性があります。これは想像ですが、アブラナ科植物を寄主とした昆虫は、その防御物質であるカラシ油を目印にアブラナ科植物を占有し、やがてカラシ油配糖体を持つアブラナ科植物だけを寄主にしたと考えられます。食べ続けている内にむしろその辛さが好きになってしまったのかも知れません。従って、カラシ油配糖体を持たないハウレンソウには見向きもしないのです。

同じように植物が生産する生体防御物質としてフェノール、フラボノイド、フラノクマリン、アルカロイド、タンニン、ニコチン、ピレトリン等が知られています。これらの物質に抵抗性を持った種が出現し、ある種の植物群だけの害虫になったとも考えられます。殺虫剤抵抗性発達の要因の一つとして、このあたりのことも関係しているのかも知れません。

昆虫の食性は、単食性、狭食性、広食性の3種類に分けられます。

単食性昆虫は1種類の植物しか寄主としない種で、クワを寄主植物としているカイコガが代表的な例です。野菜の蛾類害虫に単食性昆虫はいません。

狭食性昆虫とは1つの属、科などに限られた植物群を食べる種で野菜害虫の中にはアブラナ科、ウリ科、ナス科、アカザ科、ユリ科ネギ属だけを食する狭食性害虫が何種類かいます。

広食性害虫とは、いくつもの科にまたがる植物群を食べる種で、野菜の蛾類害虫の重要種が数多く含まれます。雑食性と言うこともあるようですが、「なにかい？イモムシが肉を食べるのかい？」などと揚げ足を取られるかも知れないので広食性といった方が無難です。

ある程度の狭食性害虫と重要な広食性害虫を覚えてしまえば、野菜の蛾類害虫の半分以上が同定できるようになります。野菜を加害する蛾類害虫の種類数は、それほど多くないのです。

野菜を加害する広食性蛾類害虫の代表的な種には、ヤガ科ヨトウガ亜科のハスモンヨトウ、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ、ヤガ科タバコガ亜科のオオタバコガ、タバコガ、ヤガ科モンヤガ亜科のカブラヤガ、タマナヤガ(ネキリムシ類)、ヤガ科キンウワバ亜科のイラクサギンウワバ、タマナギンウワバ等(ウワバ類)があります。これらについて2回に分けて解説したいと思います。まずは最も普通に見られるハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガを取り上げます。

① ハスモンヨトウ

形態

- ・成虫の前翅には、「斜めに交差した数条の淡褐色の縞模様(すなわちハスモン)」があつて雄成虫の前翅先端部は青色がかっています(写真1)。
- ・卵は数百個が一塊となった卵塊で産卵され、薄茶色の雌成虫の鱗毛によって覆われています(写真2)。
- ・幼虫に体毛はなく、頭の後方4節目に1対の大きな黒紋、背面に3本の白～橙色の明瞭な線があります。黒

紋の位置は、正確には第1腹節上にあると言いますが、少なくとも1番目じゃないよと悩む必要はありません。頭の次からの3節は腹部ではなく実は胸部なのです。胸部には昆虫の証拠である3対の足（胸脚と言います）があります（写真4）。4節目が第1腹節でそこからが腹部です。幼虫の体色は薄いものからほとんど黒く見えるものまで変化に富んでいます。

・蛹は茶色、土中で蛹化します。



発生生態

- ・幼虫は6齢まであります。
- ・非休眠性の暖地系害虫で少なくとも関東の露地では越冬できず、加温されたハウス内で加害を続けながら冬を越します。
- ・休眠しないので成幼虫ともに秋遅くまで発生します。
- ・発生量の年次変動が大きい害虫で、梅雨明けが早く、暑さが厳しい年の秋に多発します。例年は8～10月頃の被害が最も大きくなります。

被害状況

- ・若齢幼虫は集団で食害しますが、中齢幼虫以降になると分散して葉脈や葉柄を残して暴食します。
- ・トマトやなすでは果実の中にまで食入することは稀ですが、キャベツ、はくさい、レタス等の結球作物ではヨトウガ、オオタバコガと共に芯にまで入り込むことがあって被害は甚大です。



②ヨトウガ

形態

- ・成虫の前翅は、ベースが黒灰色で、中央部にやや大きめの不整形の白紋があるのが特徴です（写真5）。
- ・卵は数百個が一塊となった卵塊で産卵されますが、ハスモンヨトウのように雌成虫の鱗毛によって覆われることはありません（写真6）。
- ・幼虫に体毛はなく、明らかな紋や背面の線もありません。若齢幼虫の体色は緑色から黒色まで変化に富んでいます。この時期の幼虫は腹脚が4対あるにもかかわらず、尺取り虫歩きをするのが特徴です（写真7）。腹脚とは、腹部にある吸盤状の足のことです。老齢幼虫の体色は灰褐色～黒褐色、尾部の黒紋が目立つこともあります（写真8）。

- ・蛹は茶色、土中で蛹化します。

発生生態

- ・北海道、北東北では、夏眠せずに年2回の発生をしますが、関東以西では蛹で夏眠して年2回の発生となります。蛹で越冬します。
- ・5、6月と9月頃に幼虫が発生します。

被害状況

- ・若齢幼虫は集団で食害しますが、中齢幼虫以降になると分散して食害します。
- ・老齢になると昼間は土中に潜入し、夜間に食害することが多いようです。
- ・キャベツ、はくさい、レタス等の結球作物では内部にまで入り込んだ幼虫によって甚大な被害を被ることがあります。



写真 9:成虫
(右が雌)

写真 10:若齢幼虫

写真 11:終齢幼虫

写真 12:トマト果実に食入した
オオタバコガ幼虫の糞

オオタバコガ

③オオタバコガ

形態

- ・成虫の大きさはハスモンヨトウとほぼ同等ですが、前翅に明瞭な紋はなく、雄は茶色が強く、雌は灰色がっています(写真9)。
- ・卵は卵塊でなく、1卵ずつ植物体上や誘引ひも等に産卵されます。卵の直径は0.5mm弱で肉眼での発見は困難です。
- ・幼虫は5齢まであってまばらに毛が生えています。若齢幼虫の体色は茶褐色であり変異はありませんが、老熟幼虫の色彩変異は大きく多彩です(写真10、11)。
- ・蛹は茶色、土中で蛹化します。

発生生態

- ・蛹で越冬しますが、休眠に入る時期が遅く、蛹までならず死亡する幼虫が多くいます。従って、4、5月に発生する第1回成虫の密度は低いのが普通です。
- ・年間の発生回数は4、5回で、夏から秋の発生量が多くなります。

被害状況

- ・若齢幼虫は、初め柔らかい花や新芽を食害しますが、すぐに果実内や結球部への食入を開始します。植物体の中に潜るのが好きな害虫です。トマトでは果実から出される排泄物によって幼虫の被害に気がつきませんが、結球作物やとうもろこしでは外部の被害が認められないのに内部に幼虫がいることが多く注意が必要です(写真12)。
- ・幼虫は、1つの果実にとどまらず、次々と新しい果実に移動するので幼虫数の割に被害果数が多くなります。
- ・トマトでは、多発生したときや果実がないときには茎の中に潜入することもあり、むしろ実害が大きくなる可能性があります。

[目次へ戻る](#)

今月の肥料紹介

被覆配合肥料は農業分野のみならずゴルフ場分野にも広く使われております。今回は当社グループのゴルフ場向け肥料の事例を、住化グリーン株式会社にご協力いただきご紹介いたします。



住化グリーン株式会社

ゴルフ場向け被覆配合肥料

【特長】

小粒の肥料を使用しており、芝に馴染みやすい
 安定的かつ穏やかな肥効。年数回の施肥で省力的
 肥料焼けが起こりにくく、梅雨時の芝管理も安心



使用事例紹介

【試験事例】

試験地	群馬県 S カントリークラブ コーライ芝				
試験期間	5月中旬 ~ 11月上旬				
施肥体系	試験区	5月24日	有機化成入り 被覆配合肥料 19-6-9	30kg/10a	
		10月28日	緩効性窒素肥料 39-0-0	7.5kg/10a	
	対照区	5月24日	緩効性窒素肥料 39-0-0	12.5kg/10a	
		9月22日	化成肥料 20-5-10	15kg/10a	
		10月28日	緩効性窒素肥料 39-0-0	7.5kg/10a	
コメント	有機化成入り被覆配合肥料を連休明けに散布し、梅雨期に過繁茂させることなく、 安定的かつ穏やかな肥効が10月まで持続し 、芝の表面密度およびほふく茎・根の生育も良好にした。更に 省力化 にも繋がりが満足している。				

(9月10日のフェアウェーの様子)

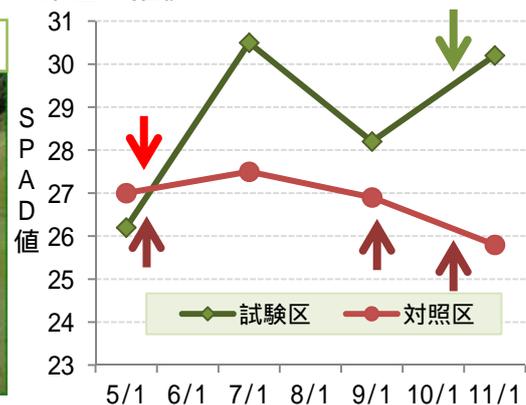
【試験区】 SPAD 値 28.2



【対照区】 SPAD 値 26.9



(葉色の推移)



ゴルフ場向け肥料のお問い合わせは
 住化グリーン株式会社
 電話: 03 - 3523 - 8282

農業用の肥料に関するお問い合わせは
 住友化学株式会社 アグロ事業部 肥料営業部
 電話: 03 - 5543 - 5783

1月末で住友化学肥料営業部小林が退職いたしました。
 この場をお借りしてご挨拶申し上げます。



42年間ありがとうございました。
 住友肥料を今後とも
 よろしく願い致します。

[目次へ戻る](#)

復活！

今月のご相談から

1. 埼玉県 農家の方

Q：野菜農家です。今朝の農業新聞でピクシオDFの広告を見ました。菌核病と灰色かび病の防除剤の種類が限られているため、新製品ピクシオDFには期待しています。「いちご」の灰色かび病には使えますか。「はくさい、キャベツ」の菌核病にはどうですか。

A：ピクシオDFは菌核病と灰色かび病に対する新しいタイプの防除剤です。野菜類では「トマト、なす」などの菌核病と灰色かび病防除に2,000倍、「いちご」の灰色かび病防除に2,000倍の登録があります。今のところは、「はくさい、キャベツ」の菌核病防除の登録はありません。



2. 沖縄県 試験研究機関の方

Q：沖縄県では、サトイモ科の「たいも」という水田作物があります。この「たいも」の害虫「ハスモンヨトウ」にゼンターリ顆粒水和剤は効果があると思うのですが、現場の方から「水田作物で本剤が利用可能でしょうか？」との質問がありました。本剤は水田作物で利用できますか。

A：「たいも」は「みずいも」の別名で塊茎を収穫するものは「いも類」登録となります。また、葉柄を収穫するものは野菜類登録となります。本剤は両方に登録がありますので、ご使用は可能です。水田で栽培する作物ですが、特に使用の制約はありません。

3. 千葉県 販売店の方

Q：使用期限が2015年のアグロスリン水和剤を持っています。ラベルに「はつかだいこん」の記載がありません。住友化学農業ガイド2014には「はつかだいこん」の記載があります。どちらが正しいですか。

A：本剤は2013年6月に「はつかだいこん」の適用が登録拡大されました。お手許の製品は2011年製造の製品ですので、「はつかだいこん」の記載がありません。現在は登録がありますので、「はつかだいこん」で使用できます。

4. 神奈川県 教育関係の方

Q：トマトの品種「フルティカ」を栽培しています。ダコニール1000は「トマト」で前日、「ミニトマト」で7日前の登録がありますが、本品種はどちらになりますか。種屋さんからは中玉と言われています。

A：農業登録上、果実の直径が3cm以下は「ミニトマト」、それ以上は「トマト」になります。中玉は3cm以上ありますので、「トマト」に分類されます。

(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

1月29日、2月12日の適用拡大の内容です

詳細はここをクリックしてください。

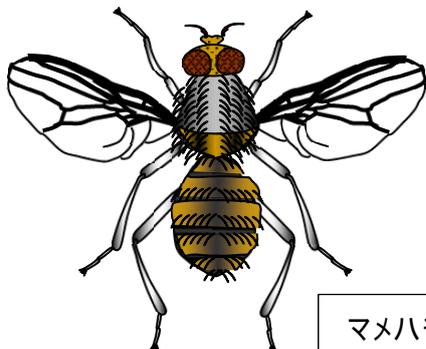
<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2014.html>**適用拡大
殺虫剤**

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
イカズチWDG (2014/1/29)	害虫追加	りんご	シクイムシ類他 4害虫	シクイムシ類他4害虫に カメムシ類 を追加
	使用時期 変更	もも	収穫7日前まで	収穫前日まで
	作物追加	-	りんご他3作物	りんご他3作物に ぶどう、ネクタリン を追加
スミフェート粒剤 (2014/1/29)	害虫追加	キャベツ	アオムシ他3害虫	アオムシ他3害虫に ハイダラノメイガ を追加
		きく	アブラムシ類、アザミヤカ類	アブラムシ類、アザミヤカ類 マメハゲリハエ
	作物追加	-	キャベツ他20作物	キャベツ他20作物に ごぼう、みずな を追加
ディアナWDG (2014/1/29)	害虫追加	りんご	キンモンホリガ他4害虫	キンモンホリガ他4害虫に キンモンハメカリガ を追加
		もも	モモハゲリガ、シクイムシ類	モモハゲリガ、シクイムシ類 ハマキムシ類
	希釈倍数 変更	なし	5000倍 (チュウゴクサキジラミ チャノイロアザミヤカ)	5000~10000倍 (チュウゴクサキジラミ チャノイロアザミヤカ)
住化スミチオン乳剤 (2014/2/12)	害虫追加	ほうれんそう	アブラムシ類	アブラムシ類 ホウレンソウケナガコナダニ
		花き類・ 観葉植物	アオムシ、ハナハチ類 ハマキムシ類	アオムシ、ハナハチ類 ハマキムシ類、 アザミヤカ類
		だいず	ダイズサタマハエ他4種 (無人ヘリコプター による散布)	ダイズサタマハエ他4種に マメシキイガ を追加(無人ヘリ コプターによる散布)
	使用液量 設定	オリーブ オリーブ(葉) いちょう(種)	未設定	0.3~3L/樹
		たらのき		150~300L/10a
作物追加	-	稲他78作物	稲他78作物に たばこ を追加	

殺菌剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
バリダシン液剤 5 (2014/1/29)	病害追加	はくさい	軟腐病	軟腐病 黒斑細菌病
	作物追加	-	稲他 25 作物	稲他 25 作物に はぼたんを追加

(山脇)



マメハモグリバエ(大きさ 2mm)

[目次へ戻る](#)

ひげ仙人の

農薬を正しく使おう！⑤

i-農力サイトに掲載している「[農薬の適正使用](#)」について、順にご紹介します。

散布時のポイント

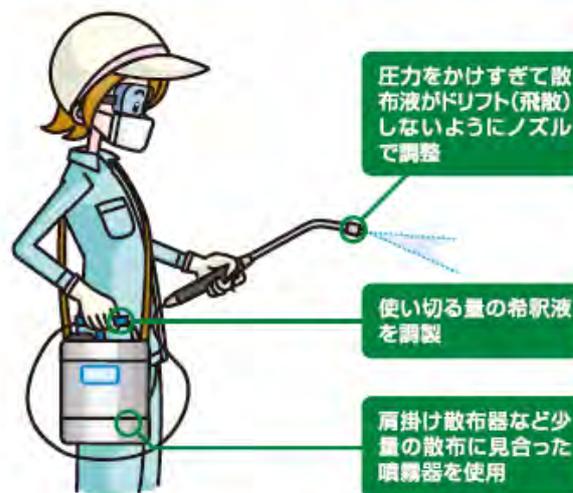
農薬を「浴びない」「触れない」「吸い込まない」ための
装備と工夫を行います。



●散布作業時

- 接触、吸入の回避(保護具の着用)
- できるだけ農薬を浴びない工夫
(後退散布、風向、農薬の剤型/散布器具を選ぶ)
- 散布は、暑い日中を避け、涼しい朝夕に
(散布者と植物への配慮)
- 一度で使い切るように調製

飛散しにくい散布方法は「農薬の飛散を防ぐ方法は？」
をご覧ください。



次回は・・・「散布後のポイント」

[目次へ戻る](#)

住友化学農薬ガイド 解説辞典



弊社農薬ガイドの「適用と使用法」欄の内容を正しくご理解いただくために、前号(No.109)より内容を解説する「住友化学農薬ガイド解説辞典」を始めました(下記のページは引用した農薬ガイドのページです)。

2. 「使用時期」についてー(2)

(解説) 農薬の使用時期は、主に収穫物中の農薬の残留量が残留基準値以下になるよう設定されています。今回は、「〇日前」以外の表記のあるケースを紹介します。

(1) スミチオン乳剤 (P.56)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数
稲 (箱育苗)	イソガレソチュウ	1000倍	硬化期 ~ 移植前日	本剤1回 MEP3回

硬化期前は薬害の懸念があるので、使用を避けるための表記です。ただし、この時期に使っても残留基準を超える可能性は低いので、「〇日前」の併記はされていません。

水稻の箱育苗は、播種-出芽(暗室内)-緑化期(日光をあてる)-硬化期(外気にさらす)の工程を経て移植のできる苗となります。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数
トマト	アブラムシ類 オニジユウホソテントウ	2000倍	収穫開始14日前	2回

この場合は、いったん収穫作業を始めた後は農薬を使用できません。一方、「使用時期：14日前」の場合は、収穫が開始されていても農薬は使用でき、農薬使用后、14日経過すれば収穫できます。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数
うど	アブラムシ類 センノカミキリ 他	1000倍	根株養成期 但し、150日前	4回

うどは、まず根株を畑で養成し(この時期を根株養成期といいます)、この根株を、むろ、ハウスなどに移植して育てます。

根株を、地下室(むろ)で日に当てないで育てる白い「軟化うど」、ビニールハウスで育てる「緑化うど」がありますが、いずれも移植前の根株養成期にしか使えません。

さらに農薬使用后150日経過しないと収穫はできません。

(2) ダコニール1000 (P.199)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数
なばな	白さび病 べと病 他	1000倍	出蕾前 但し、21日前	3回

蕾にかかると残留量が多くなるための制限で、一つでも蕾が出始めたら使用できません。(花井・山脇)

[目次へ戻る](#)

続・ひまわり農園奮闘記

3月になるとひまわり農園(東京都立川市)も、日差しが増し春本番を迎えつつあります。野菜大好き人間?の私には、待ちに待った野菜作りの季節が再びやってきました。

さて、今年は去年の経験を活かして、上手な野菜づくりに挑戦したいと思います。はじめに、ひまわり農園続編の紙面構成ですが、上段に今月の植え付け野菜と作業内容、中段は畑に植えた野菜の様子と手入れや収穫作業、下段にトピックスを記載します。

3月植え付け作業する野菜

【3月10日前後】

じゃがいも(品種:男爵、キタアカリ)の植え付け/酸性を好むため石灰は施用しない。種芋の芽を欠かないように60cm幅の畝に、二列に30cm間隔で深さ10cmぐらいの穴を掘って植える。植え付け後に灌水しない。

ほうれんそう(品種:ハンター)の播種「春、花が咲かない品種」/化成肥料、アルカリを好むため石灰とヨウリンを撒いた後、よく耕して、畝幅60cm、畝高5cmに播種穴の開いたマルチを張る。その一穴に深さ1cmに5粒ずつ播種する。追肥は不要。

【3月15日前後】

だいこん(春用の品種:天宝)の播種/60cmの畝幅に化成、石灰を撒いてから30cmほど耕す。播種穴が開いている透明マルチを敷いて、一穴に3粒ずつ深さ1cmに播種し、播いた種が露出しないように手で押してから散水する。播種しただいこんは一斉に収穫を迎えることになるので、1週間ほどずらして2回に分けて播種する。

コールラビの播種も穴の開いた透明マルチに、だいこんと同様に播種する。播種の間隔はだいこんよりも狭くしてもよい。

◀1月の農園の様子▶

ねぎ、だいこん、はくさい、ほうれんそうなど残っていた野菜をすべて一月末に収穫して、耕起(写真2)しました。ねぎ、だいこん、はくさいなどは大きく立派に育ちました。ねぎ(写真1)は新聞紙に包んでおくと保存がききますので、料理に使うのに重宝しています。おたふくだいこんは、鍋物にしても、サラダにしても大変おいしいだいこんでした。畑で寒さに当たったはくさいは、水炊きや煮つけにすると甘く美味しくいただけました。

トピックス ひまわり農園は植え付け時、必ず講習会があり、参加者たちはメモを取って、説明の通り植え付けします。しかし、同じように栽培しているはずなのに、同じものが一つとしてありません。参加者の個性がでて、大変面白い光景です。例えば、右の写真ですが、写真3は寒くなると白菜の葉が開くので、麻ひもでぐるぐる巻きにしています。写真4は白菜の頂部に葉を載せて紐で巻いています。写真5は紐で巻かないため葉が開いています。写真6は鳥害防止を兼ねてネットを被せています。

(古津)



写真 - 1



写真 - 2



写真 - 3



写真 - 4



写真 - 5



写真 - 6

[目次へ戻る](#)

お知らせ



大阪セミナー報告

2月7日(金)に大阪で行いました「農薬安全性セミナー」には、多くの会員様にご参加いただき、ありがとうございました。質疑応答に十分時間が取れず、ご迷惑をおかけした部分もございますが、皆様ご満足いただけたようで、スタッフ一同ホッといたしました。

今年度の実施は今回が最後となり、次回は10月以降を予定しております。また次回は東京・大阪以外の場所でも開催し、もっと多くの会員様にご参加いただけるよう検討中ですので、まだご参加いただけていない会員様もお気軽にご参加ください！

いちご試食しました

105号(2013年9月)でご紹介しました、「住化ファーム長野」(長野県中野市)で栽培しているいちごは12月から収穫を開始しています。

従来から栽培している「とちおとめ」に加え、今年から栽培を開始しました「おいこベリー」「紅ほっぺ」「こはる」「淡雪」(白いちご)の計5種類を試食しました。大雪の影響で今年は全体に遅れ気味でしたが、どのいちごも大きく甘く育っており、大汗かきながら定植したことを思い出しました。食べ比べてみると、それぞれに味の違いがあって面白かったです。

住化ファーム長野のいちごは、これから収穫の最盛期を迎えます。

(事業企画部)



第6回「環境保全型農業シンポジウム」開催

3月11日(火)東京で「第6回環境保全型農業シンポジウム」が開催されます。国の重要施策である「食の安全・安心確保」において「環境保全型農業」が注目され、IPMへの取組みが望まれています。

本シンポジウムは攻めの農林水産業の展開とそれを支える生産現場でのIPMをテーマに、具体的な取組事例を紹介し、国の施策や先進的な農業について話し合ってくださいことを目的に開催いたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしています！

日時:3月11日(火)10:30~17:20
会場:江戸東京博物館ホール
定員:300名(先着順)
申込締切:3月5日(水)

お申し込み方法など詳しくは、
日本微生物防除剤協議会HPをご覧ください。
(出光興産、セントラル硝子、住友化学協賛)
<http://www.biseibutsu.jp>

[目次へ戻る](#)

普及部
木村の

気ままに鉄道



トライアスロンの旅

Vol.6

趣味のトライアスロンの練習距離を手持ち距離として全国の鉄道を気ままに旅するこの企画。今回は、前回は、**石和温泉駅**から**島田駅**まで進みました。

1月はこれまでよりも出張が少なく、どっさりたまっていた東京本社でしかできない事務仕事をこなす毎日でした。トライアスロンの練習は、十分とは言えるレベルではありませんが、スイム 6.0km、バイク 20km、ラン 18km となり、この距離をそれぞれの競技の負荷を考慮した指定の計算式()に当てはめると、手持ち距離は約 252km と算出されました。そろそろシーズン開幕なので、これの倍くらいの練習はしないとイケないのですが、なかなか時間がとれません。

さて、まずは前回の終着駅である島田駅周辺のレポートです。これまでは、観光地、著名人、名産、農産物などについて紹介してきましたが、少し趣向を変えてみようということで、「島田市&企業」で google 検索してみました。大井川鐵道、ハラダ製茶、島田ガスなど想像に難くないと思われる企業さんの名前がある中で、一際目を引く企業名を発見しました！その名は普及部木村と同じ名前の「木村飲料」でございます(全国の木村の皆さんお待たせしました！)。どんな会社？とホームページを拝見してみると、大変興味深い飲料を製造販売されています。例えば、「しずおかコーラ」。これは緑茶が入った緑色のコーラです。そして、「わさびラムネ」と「カレーラムネ」(ピリピリ感が期待できそうです)。カクテル風のノンアルコール飲料としては、「好きにして カシスオレンジ」(なんかドキドキするわ)。木村飲料の販売商品は書籍・CDにまで及び、「へそ曲がり商品で地域を生き返らせる」という書籍や、「GOGO THE サイダーマン」というCDがあります。上記商品はオンラインショッピングでも購入できるようですので、気になった方は購入をご検討ください(別に木村飲料さんの営業マンではありません)。

それでは、しずおかコーラの味を想像しつつ、GOGO THE サイダーマンを聞きながら(着うたをダウンロードできました)、次の目的地へ向け出発します。東海道本線金谷駅で大井川本線に乗り換え、終点の井川で折り返して東海道本線に戻ります(長野方面へ抜けたかったのですが)。掛川駅で天竜浜名湖線に乗り換えて浜名湖の北部を抜け、新所原で再々度東海道本線に合流。下地駅で飯田線に乗り換えて、念願の長野県方面へ進んで到着したのが、今回の終着駅である「**長篠城駅**」です。次回は、長篠城駅周辺をご紹介した後、長野方面へと旅を進めて行きます。まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザも流行っているようですので、皆様お体にはお気をつけてお過ごしください。

$$\text{手持ち距離} = (\text{SWIM 練習距離} \times 26.6) + (\text{BIKE 練習距離} \times 1) + (\text{RUN 練習距離} \times 4)$$



進路概要

(一部正確ではないところがあります)

東京本社をバックに
雪だるまになる木村

工場紹介

第2回 下松工場



住友化学 工場紹介の第2回は山口県「下松（くだまつ）工場」です。下松工場は操業開始から24年を迎え、幾度かの合併を経て2004年4月に現在の住化アグロ製造下松工場となりました。第1回で紹介した大分工場などで作られた原体（農薬の有効成分）が、ここ下松工場に送られてきます。様々な加工を経て使いやすく小分け包装され、段ボールケースに入れてようやく販売される形の製品となります。製品の容器に製造場として、住化アグロ製造下松工場の記載がある製品もありますので、折を見て製品のラベル下側も見てくださいね。

ひときわ目立つ6階建て 立体配置方式の生産設備！！

敷地内に入るとすぐ正面に6階建ての真っ白な建物が見えます。この建物内では、原料の混合から成形、包装、格納に到るまでの製造ラインが一体となって動いています。一旦すべての原料を最上階の6階に持ち上げた後、加工を加えるごとに下の階へと移動していく「重量落下方式」システムになっております。工場内はほとんどの過程でオートメーション化されており、設備内の人影は驚くほど少ないです。

製剤の流れ(粒剤編)

仕込み

原料を建物の6階まで持ち上げ階下の貯槽へ投入します。

計量と混合

各原料を量り混合。水を添加し練り合わせます。

造粒

充填

立体倉庫

高性能ロボットが活躍

詳細は写真参照



全ての製造工程をこの建物で行います

製造スタート

①仕込み



原料投入は手作業で行います。およそ直径60cmの穴へ原料を流し込み下の階の貯槽(ちようそう)に落とします。



②計量と混合

各原料は計量後、混合されます。できあがった混合物は粉碎機(ふんさいき)で粉碎され、さらに水を加え練り合わせます。



③造粒 ぞうりゅう



◀ 機械の中から外へ麺の様に細長い棒状の物が押し出されてきます。その後、解砕機（かいさいき）等で造粒物にカットします。

コンピューター制御室



◀ 工場の製造から出荷までの工程や自動ラック倉庫などをコンピューター制御により管理しています。



「ゆびさし呼称」で安全確認をして作業します。社長自ら実践。
“よし！！”

ゴメンナサイ！
「業界最先端機器のため、
撮影 NG です」(工場長)



こちらは液剤のボトリング
製品になるまでもうすぐ！

◀ 溶剤を充填しています。安全性と外の埃が入らないよう、アクリル製の板で四方が仕切られた部屋となっています。



④充填 じゅうてん

◀ ロット番号を特殊なスプレーにより一瞬でプリントします。流れている製品の速度が落ちることなく印字されて行き、きちんと整列されて次のケース詰めへと流れて行きます。



◀ 製品の数量がまとまると、タイミングよく荷台が迎えにきて倉庫ラックへ運んで行きます。この通路は人が立ち入ることも無いため照明も薄暗く省エネです。

⑤ 立体倉庫



◀ 倉庫は5階建て相当の高さがあります。ここの操作も徹底したシステム化により、ロボットが全て自動で行います。

徹底した安全管理を行い
まもなく出荷です！

工場敷地内のグラウンド



工場内には、フォークリフトを動かす女性も数多くいて、迅速丁寧な荷捌きが好評です。



ご安全に！

◀ 昼食は手早く食べて、グラウンドでクリケット。昼休憩は45分間です。

あとかき

設備以外に工場内の各部署にもお邪魔しました。午前と午後にそれぞれ10分程度の小休止があり、ちょうどこの時間帯に重なりました。休み時間の合図のベルが鳴ると一斉に東の間のリラックス。また、工場周辺もご案内いただきました。下松市は、大正時代から工業都市として発展してきました。新幹線や東京メトロの車両を製造している鉄道工場は、西日本最大です。更には最先端のITに関するハイテクなど製造業のまちとして様々なものづくりが行われ、巨大プラントを持つ工場もあり圧倒されました。

毎年7月から10月に下松市の商工会議所が主催する「産業観光ツアー」で各社の工場見学が出来ます。下松工場も「産業観光親子ツアー」の行程で組み込まれ、農薬の役割や品質試験の実演も交えて、農薬が出来るまでの工程を紹介しています。夏休みの自由研究の課題になるとたいへん好評です。

下松工場のみなさん



◀ 夕日岬 下松工場から車でほんの15分くらいで行ける絶景がありました。眺める夕映えの美しさは、西日本でも有数の名所と言われており、特に冬至の時期が素晴らしいそうです。工場取材日はちょうど前々日あたり、地元ケーブルテレビが日没時間帯を狙って写真を撮りに来ていました。

(製品生産企画部 丸山)

次回は、住友化学の発祥の地「愛媛工場」(愛媛県新居浜市)です。どうぞお楽しみに・・・！

[目次へ戻る](#)

アグログループ 通販のご紹介

日本エコアグロ株式会社

通販サイト【Web エコアグロ】からのお知らせ

秋田県産「お米シリーズ」

小さいポーションもお選びいただけます！！



ちょうどこの原稿を準備しているさなか、関東・甲信越地区を中心に記録的な積雪となり、自宅から一歩も出ることもなく（この時ぞとばかりに）普段から録画しておいたテレビ番組をチェックしておりました。

その録画の中に最近アメリカで人気となっている料理番組があり、何故か「お米の特集」が組まれていました。品種ごとの特性や洗米の仕方、各種炊飯グッズの紹介まで抜かりなく説明があり、レシピについても脱帽といった感じ！海外でのお米ブームには驚かされるばかりです。

テレビの影響は絶大ですね・・・という訳で今回はお米をご案内いたします。

住友化学アグロ事業部・仙台営業所さんからのご紹介により通販で販売させていただいておりますが、定番の5kgとは別に2kgのパッケージでも求めいただけますので、色々な品種をご賞味いただくには最適です。



今も昔も、丹精こめて…

【コシヒカリ】<粘り>と<甘み>のバランスが抜群！

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000054/>

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000055/>

【あきたこまち】やや大粒で柔らかくて食べ応え十分！

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000052/>

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000053/>

【ササニシキ】さっぱりした炊き上がりがお寿司やカレー、リゾットなどにピッタリ！

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000050/>

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000051/>

この他にプレミアムシリーズもございます。詳しくはこちらをご覧ください ↓ ↓ ↓

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/c/0000000139/>

ひな祭りの「ちらし寿司」、春を告げる「豆ご飯」や「たけのこご飯」、その先には新生姜を使った「生姜ご飯」など楽しみが続きますね・・・

お問い合わせ：

日本エコアグロ株式会社 通販担当

東京都中央区八丁堀 4-5-4 電話 03-3523-8280



(画像は5kg用のパッケージです)



「焼きたけのこ」の炊き込みご飯

[目次へ戻る](#)

～ 編集後記 ～



1637年に勃発した島原・天草の乱で歴史的にも有名な天草への取材は決まった時から大変楽しみにしていました。乱は圧政に苦しんでいた農民の一揆から始まりましたが、キリシタン迫害もあり関ヶ原の合戦後国内最大の戦場になった地域です。しかし、当日はそういう痛ましい事件があったとは思えないような穏やかな取材日よりでした。

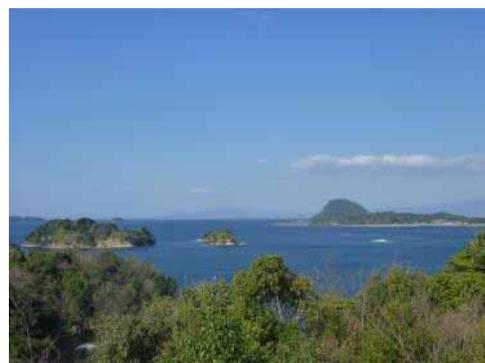


これまでの取材でも感じていましたが、人生の大先輩でもある佐藤さんのお話を伺っているとチャレンジには年齢制限はないと確信しました。弊社のスローガンである『Change and Innovation』をまさに農業生産の場で実践されている姿を見て、デコポン栽培と同じように現状に満足せず、常にチャレンジしないと何も変化は起こらない、また夢も実現しないのだと思います。佐藤さんが一代で築いてこられた農業技術は息子さんからお孫さんへ受け継がれ、また地域として組織だって栽培技術を磨

く土壌があれば天草はこれからも全国有数の柑橘産地として私たち消費者に美味しい収穫物を届けていただけるのでしょし、期待したいと思います。

(黒田)

はじめまして、農家訪問記でデコポン農家さん取材しました品質保証室の宮本です。柑橘畑というのはドラマでの知識でしかなかったため、乏しい予備知識を抱えて期待と不安を胸に取材に臨みました。熊本市内から2時間半、車で農家さんの畑のある天草までの道のりはまさに絶景でした。広がる田園風景に天草五橋から見た海に浮かぶ島々。そして、たどり着いた柑橘農園は絵画を思わせるような光景でした。連なるビニールハウスに斜面を切り開いた果樹園、そこを縫うように走る道路でさえ同じ風景に溶け込んでいました。この絵画の画家である、今回取材しました佐藤さんの印象は「アグレッシブ」そのもの。時代に合わせてどのようなものが求められているのか、飽くなき挑戦に日々取り組まれている姿は言葉の重みとなって伝わりました。失敗談を語られる中にも、次への挑戦のため勉強会やITなどの技術を取り込もうとされている姿勢は頭が下がる思いでした。



「一つのことだけではなく色々試してみる。そのことが消費者へのアピールにもなる。同じことをしていても百姓は面白くない。」佐藤さんのその一言は心に響きました。

今回から農家訪問記にお世話になりますが、次はどんな経験ができるのか楽しみです。私の感じた経験を少しでも記事にのせ、皆さんにお伝えできればと思います。

(品質保証室 宮本)

次月号の - 農力だよりは
3月31日(月)の発行予定です。
どうぞお楽しみに！！

[目次へ戻る](#)